



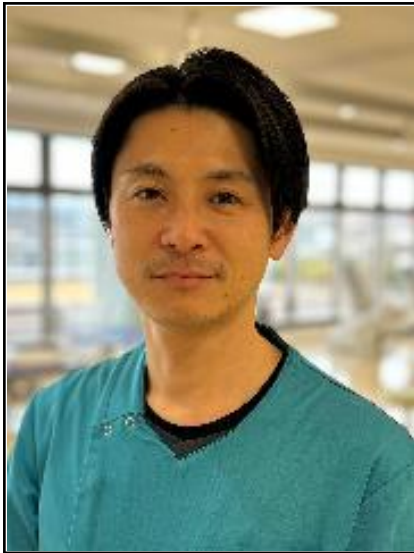
氏名	本田 憲胤
年齢	48
勤務先名	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院

府士会活動歴:市町村士会活動を含

- ・ 広報部部員 (2005年～2006年)
- ・ 南河内ブロック学術部部長 (2009年～2012年)
- ・ 生涯学習センター学術大会部部長 (2017年4月～2024年5月)
- ・ 北区理学療法士会理事・副会長 (2019年～現在)
- ・ 生涯学習センター教育局長 (2023年8月～2024年5月)
- ・ 生涯学習センター理事 (2024年6月～現在)

立候補の趣旨

この度、大阪府理学療法士会生涯学習センター役員選挙に立候補いたしました本田憲胤です。立候補の目的は、会員が必要とする多様な学びを提供し、生涯学習をさらに充実させる環境を整えることです。私は2017年の生涯学習センター設立以来、学術大会部に所属し、2023年には第35回大阪府理学療法学術大会の大会長を務めさせていただきました。学術大会は会員の知識やスキル向上の場として重要ですが、現状では参加者の層が若手中心に偏りがちです。この課題を踏まえ、幅広い経験層が参加しやすい大会運営に取り組むとともに、今後は生涯学習センターが主催する研修会や広報活動の充実にも注力していきたいと考えています。特に研修会については、会員が日々の業務で直面する課題に即した実践的な内容を増やし、より充実させたいと考えています。後進育成やコミュニケーションスキル、チームビルディング、職場環境の改善など、現場で活用できるテーマを積極的に取り入れる予定です。また、ディスカッションや意見交換が可能な場を提供することで、学びの質と実用性を高めていきます。さらに、広報活動の強化にも取り組みます。府士会の活動内容や提供する学びの機会を、より多くの会員や関連団体に効果的に発信することで、参加者の増加と府士会全体の活性化を目指します。デジタルツールを活用した効率的な情報発信や、多様なコミュニケーション方法の導入を推進し、会員のニーズに応えられる広報体制を構築したいと考えています。生涯学習センターの理事に就任した際には、これらの目標を実現するため、全力で取り組む所存です。会員の皆さまとともに、多様な学びと充実した活動が展開できる環境を作り上げていきたいと考えております。



氏名 都留 貴志

年齢 41

勤務先名 市立吹田市民病院

府士会活動歴:市町村士会活動を含

2009年～2010年	(公社) 大阪府理学療法士会	障害者保健福祉部	部員
2015年～2017年	豊能ブロック新人症例発表会	運営委員	
2017年～2018年	(公社) 大阪府理学療法士会	調査資料部	副部長
2018年～現在	(公社) 大阪府理学療法士会	北支部	代議員
2018年～2020年	(一社) 吹田市理学療法士会	施設交流部	部長
2020年～2021年	(一社) 大阪府理学療法士会	生涯学習センター	臨床実習教育部 部員
2020年	第32回大阪府理学療法学会	学術大会	準備委員長
2021年～現在	(一社) 吹田市理学療法士会	会員管理部	部長
2021年～2023年	(一社) 大阪府理学療法士会	生涯学習センター	臨床実習教育部 部長
2023年～現在	(一社) 大阪府理学療法士会	生涯学習センター	理事

立候補の趣旨

この度、大阪府理学療法士会生涯学習センターの理事に立候補します都留貴志と申します。私は教育局担当理事として令和5・6年度を務めさせていただきました。この間、教育局では学術大会部で大阪学会におけるロードマップ・マニュアルの整備、臨床実習教育部では認定臨床教育者講習会の開催、臨床実習前評価の統一化に向けたWGの立ち上げ、研修理学療法教育部では、登録理学療法士を取得する為に必要な前期・後期研修の開催・運営サポート、講師バンク制度の運用と各部の部員と連携を図りながら様々な事業に取り組んで参りました。会員の皆様が生涯にわたって学び続けることを支援する関わりができるよう務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。



氏名 鈴木 俊明

年齢 62

勤務先名 関西医療大学保健医療学部

府士会活動歴:市町村士会活動を含

大阪府理学療法士会での活動は、平成7年より業務推進部長（平成11年まで）、平成12年より泉州ブロック長（平成23年まで、平成25年から29年）、平成29年から府士会 理事（令和4年まで、令和2年までは副会長）をさせていただきました。また、令和5年より生涯学習センター理事（生涯学習局担当）をさせていただいています。平成27年には第27回大阪府理学療法学会 大会長をさせていただきました。

立候補の趣旨

令和5年より生涯学習センター理事として生涯学習局を担当させていただき、主として認定カリキュラム事業、学術誌編集部を担当させていただきました。認定カリキュラム事業では、今までの運動器に加え循環器のコースを新設できました。学術誌編集部では学術論文の査読システムを作成させていただき、投稿論文数も徐々に増加している傾向です。大阪府理学療法士会には学術レベルの高い会員が所属されています。全国的にみても会員の学術レベルの高さは注目すべき点です。そこで、会員の専門性を十分に把握し、さらにレベルの高い学術活動が実施できるように生涯学習センター理事に立候補させていただきました。皆さんの応援 宜しくお願いいたします。



氏名 工藤 慎太郎

年齢 43

勤務先名 森ノ宮医療大学

府士会活動歴:市町村士会活動を含

2022年 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事 (生涯学習局担当)

立候補の趣旨

私は2022年度より大阪府理学療法士会生涯学習センター理事となり、生涯学習局担当の役割を頂きました。私は大阪府理学療法士会生涯学習センターの役割は会員である理学療法士の技術・知識の向上を図ることで大阪府民が安心して暮らせる社会を構築することだと思っています。しかし、理事としての2年間でそれと同じくらい会員の休会・退会が深刻な課題になると感じています。

会員が生涯学習センターに期待する1丁目1番地は“質の高い”研修機会を提供することだと確信しています。理事としての2年間で、研修部と研修集会部を率いて、ナイトセミナーを週に約1回のペースでのセミナーを運営し、年間約60本、第6回研修集会はハンズオンに徹底的に拘った企画を掲げ、Webとの併用により、充実した研修機会を届けられたと思っています。この2年間で大阪府生涯学習センターの研修会、研修集会は全国で認知されており、全国からたくさんの参加者が来てくれるようになってきました。そこで次の2年間では大阪で活躍する多くの優秀な理学療法士の仕事をナイトセミナーで、日本中に広めていくとともに、アクセスの良さを活かした対面研修を通じた、若手理学療法士のスキルアップの機会を増やしていきたいと考えています。

大阪には生涯学習センターがあって、若手もスキルアップしやすいし、中堅・ベテランは日本中をリードしている。大阪で理学療法士として働いていることで、より安心感があり、誇りをもって働いていられる。そのような理学療法士を増やすための生涯学習センターにしていきたいと考えています。休会・退会の原因は様々ですから、何かをやったから、すぐに止まるわけではないと思います。しかしそのような多くの会員が誇りを持てるセンターになれば、会員の休会・退会への歯止めに一役を担えるのではないかと考えています。

これまでの大阪府理学療法士会での活動は生涯学習センターでの理事経験2年と少ないです。歴史を重んじながらも、新しい時代を切り開くために2年間頑張りますので、何卒よろしく願いいたします。



氏名 中野 治郎

年齢 50

勤務先名 関西医科大学

府士会活動歴:市町村士会活動を含

2023年 大阪府理学療法士会 生涯学習センター 理事（現在に至る）

立候補の趣旨

私こと 中野治郎 は、5年前に長崎県から大阪府に異動して参りました。その時初めて、大阪府理学療法士会ではこの生涯学習センターが一般社団法人として独立していることを知り、非常に驚き、感心し、また共感を持ちました。私は日本の理学療法には質の高い理学療法士の育成と、理学療法士全体の底上げが必要だと前々から思っていました。それを成すことができるのは、理学療法士協会および各都道府県理学療法士会の生涯学習事業ですが、その中でも、先駆的かつ磐石な組織を持ったこの大阪府理学療法士会の生涯学習センターは希望と可能性に満ちています。私もこの生涯学習センターの活動に貢献したいと強く感じて2年前に立候補し、理事を拝命いたしました。

私は、生涯学習センターでは受託研修部の担当となり、部員とともに理学療法講習会に関する業務を2年間努めて参りました。ただ、この2年で理事として何ができたかという点、胸を張って言えるほどの業績を残すことはできず、理学療法講習会をもっと増やして活発化し、またWeb開催ではなく対面での本来の技術講習会の開催を推進していくという任務は、ほとんど進めることができませんでした。前記のとおり私は大阪では新参者であるため、理事に求められる地元のコミュニケーションネットワークが不足していました。加えて、私自身の努力が不足していました。もし、もう一度私にチャンスが与えられるならば、次こそ理学療法講習会を活発化し、その使命に誠心誠意を尽くすことをお約束いたします。ご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。



氏名 田籠 慶一

年齢 47

勤務先名 増原クリニック

府士会活動歴:市町村士会活動を含

2017～2018年度	大阪府理学療法士会調査資料部	部長
2019～2022年度	生涯学習センター学術誌編集部	部長
2023～2024年度	生涯学習センター研修部	部長
2021～2024年度	生涯学習センター生涯学習局	局長

立候補の趣旨

この度、一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター（以下、センター）理事に立候補いたします増原クリニックの田籠慶一と申します。私は2019年度よりセンターでの活動を開始し、学術誌編集部、研修部で部長を務めてまいりました。また、2021年度からは生涯学習局局長として生涯学習局各部が主催する事業に携わらせていただきました。

センターでは、2021年に学術誌の刊行が始まりセンターの3本柱である学術大会・研修集会・学術誌という事業が確立されました。以後3年間においては、オンラインの活用・運営に力を入れ、ようやく十分と言える数の研修会を年間を通して開催できるようになりました。ただ各事業はまだ始まったばかりで課題も多く、会員の皆様のご意見を聞きながら発展させていく必要があります。また今後は、新たな事業展開だけでなく、同時にそれぞれの事業活動が安定的に滞りなく進められるよう組織やシステムの整備も行わなければなりません。

理事になりました暁には、これまでのセンターでの活動経験を活かし、会員の多種多様なニーズに応える学習機会の提供と、運営の効率化により部員一人ひとりの負担を軽減しつつ、やりがいを感じられるような組織体制づくりに尽力したいと存じます。



氏名 射場 一寛

年齢 54

勤務先名 清恵会第二医療専門学院

府士会活動歴:市町村士会活動を含

市区町村士会での活動

2019年～ (一社)堺市理学療法士会 理事

府士会での活動

2011～2018年 臨床実習部部長
2012年 教育計画策定特別委員会 委員
2015年 倫理規定策定委員会 委員
2017年 第29回大阪府理学療法学会 準備委員長
2018～2023年 学校保健活動委員会 委員
2023～2024年 組織率向上・人材育成特別委員会 委員

センターでの活動

2018年 教育局 臨床実習教育部 部長
2019～2020年 理事(生涯学習局 担当)
2020年 第32回大阪府理学療法学会 副大会長
2021～2022年 理事(教育局 担当)
第60回近畿理学療法学会 学術局局长
第33回大阪府理学療法学会 大会長
2023～2024年 副理事長

立候補の趣旨

この度、理事に立候補しました射場でございます。
センターは大阪学会、研修集会、総合理学療法学を事業の柱にし、年間60本のナイトセミナー、2領域の臨床認定カリキュラム教育機関、認定臨床教育者講習会、講師バンクの設置、センターニュースの発行等を行い、府士会員のニーズに合わせた事業を運営して参りました。

これらの事業の先には、患者や利用者へ良質な理学療法が提供できていることであり、ひいては理学療法士の社会的な地位の確立へと発展させたいと考えております。
どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 元石 光裕

年齢 49

勤務先名 大阪府立大阪南視覚支援学校

府士会活動歴:市町村士会活動を含

2013年～2018年	(公社)	大阪府理学療法士会	新人教育部	部員
2018年～2020年	(一社)	大阪府理学療法士会生涯学習センター		
			研修理学療法教育部	部員
2020年～2023年		同上	研修理学療法教育部	副部長
			(新人症例発表会担当)	
2023年～現在		同上	研修理学療法教育部	部長
2019年～2023年		住吉区理学療法士会	理事	(学術局担当)
2023年		第4回中支部新人症例発表会	実行委員長	
2019年～2021年		新人教育プログラム未修了対策特別委員会		委員

立候補の趣旨

2018年の生涯学習センター設立、市区町村士会の移行、2020年のCOVID、そして2022年の新生涯学習制度の導入に際し、府士会の新人教育の現場、あるいは市区町村士会の現場で、多くの変化・創出を経験してきました。

これらの活動より、2つの観点を持って立候補できればと存じます。1つ目は、新生涯学習制度の修正など、今後の変化にも柔軟に制度設計を行い、会員のみなさまが分かりやすく、前向きに取り組める支援を行うことです。2つ目は、奇しくも新人症例発表会の目的となっている「地域の中での(新人)育成」で、会員のみなさまが市区町村士会などの身近な地域で、積極的に研鑽、交流できる運営を行いたいと考えております。